

JACTFL第10回記念シンポジウム（オンライン）
2022年3月13日

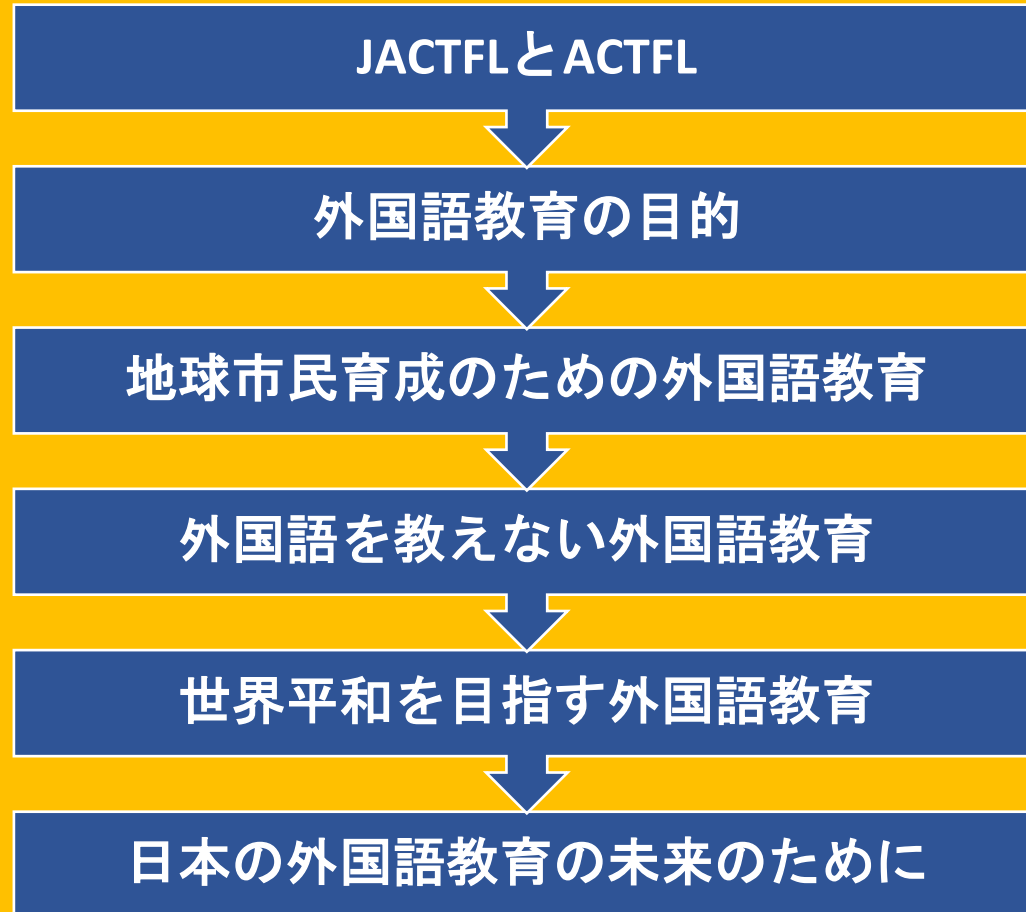
魅力的な外国語教育とは？

-外国語を教えない外国語教育-

當作靖彦

カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)

Agenda and Overview



日本外国語教育推進機構

JACTFL (Japanese Council of
Teaching Foreign Languages)

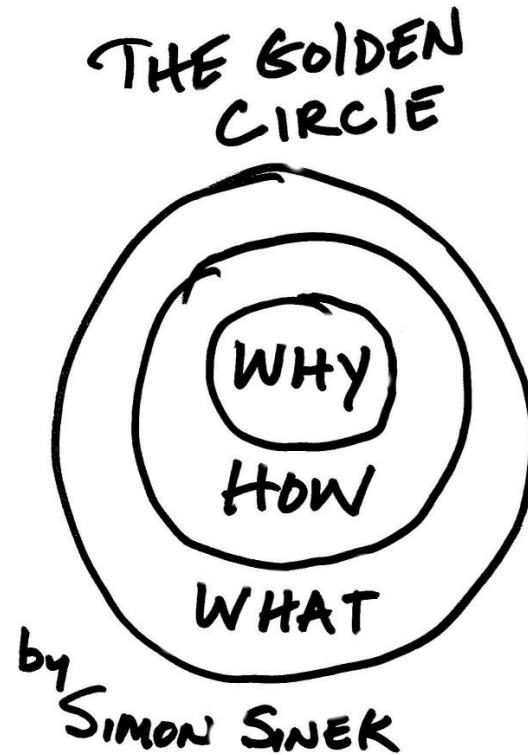
ACTFL (American Council of
Teaching Foreign Languages)

ACTFL

- **アメリカ最大の外国語教師の団体**
- **各個言語教育学会(AAT's)、州の外国語教師会等を統括**
- **先進的な外国語教育のリーダー**



The Power of WHY?



教育の組織的枠組み

ポリシー、構造、
統治、教材

教師

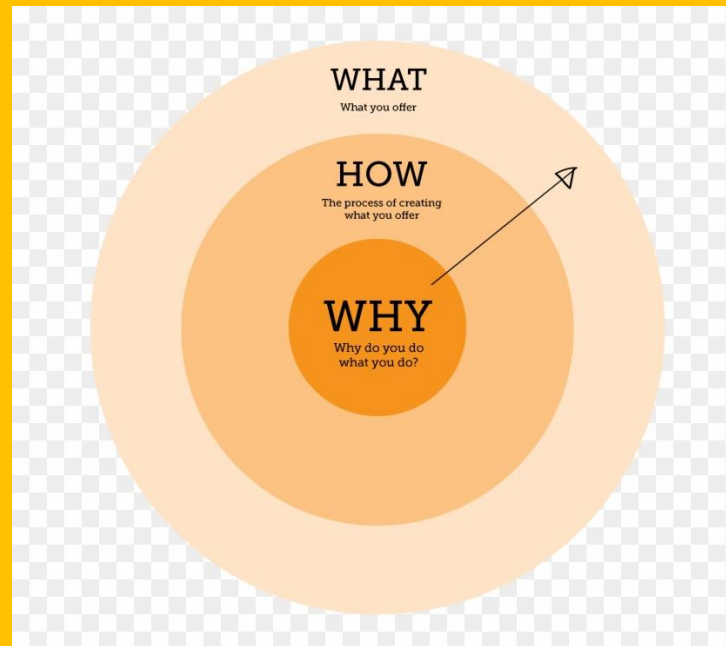
教授プログラム、授業

カリキュラム・評価システム

ビジョン・ミッション

学習理論・学習原則

なぜアメリカで日本語を教えるのか なぜアメリカで日本語を教えているのか



教育の組織的枠組み

ポリシー、構造、
統治、リソース

教師

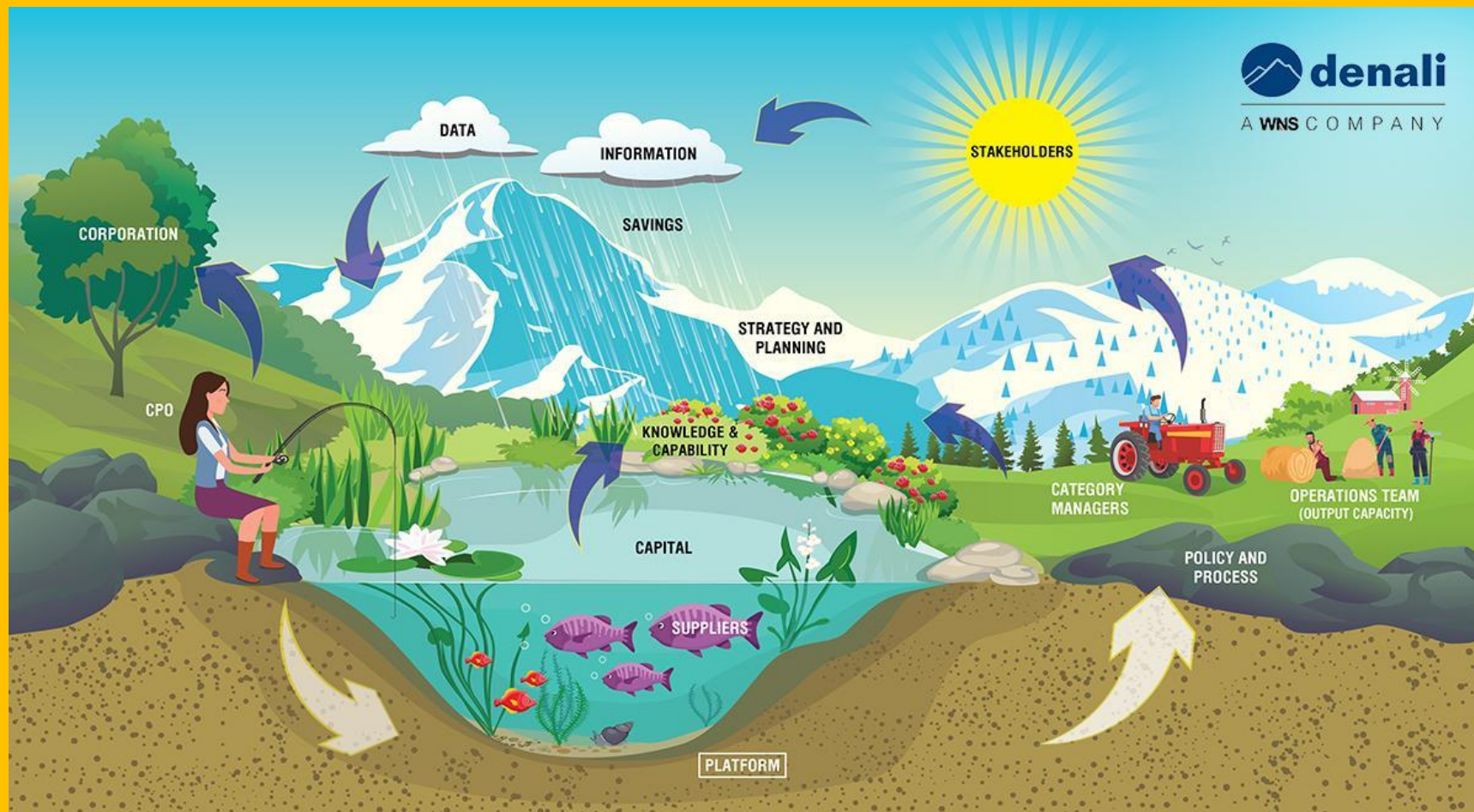
教授プログラム、授業

カリキュラム・評価システム

ビジョン・ミッション

学習理論・学習原則

エコシステム



ACTFL = 米国の外国語教育の拡大を推進

- 米国 = 英語さえできればいいという考えが主流
- 外国語教育は贅沢であるという考えが強い
- 移民、移民子弟の英語教育が重要な役割



JNCL (Joint National Committee on Languages)

- ACTFL, TESOL, Modern Language Association, AAT'sなどが協力して運営
- ワシントンでロビー活動
- 言語教育・外国語教育を拡大するための法律成立、予算獲得を目指す





推進活動

外国語教育を拡大するためには

- 外国語学習者を増やす
- 外国語学習への動機づけを高める
- 外国語学習を魅力的なものにする



魅力的な外国語教育とは？

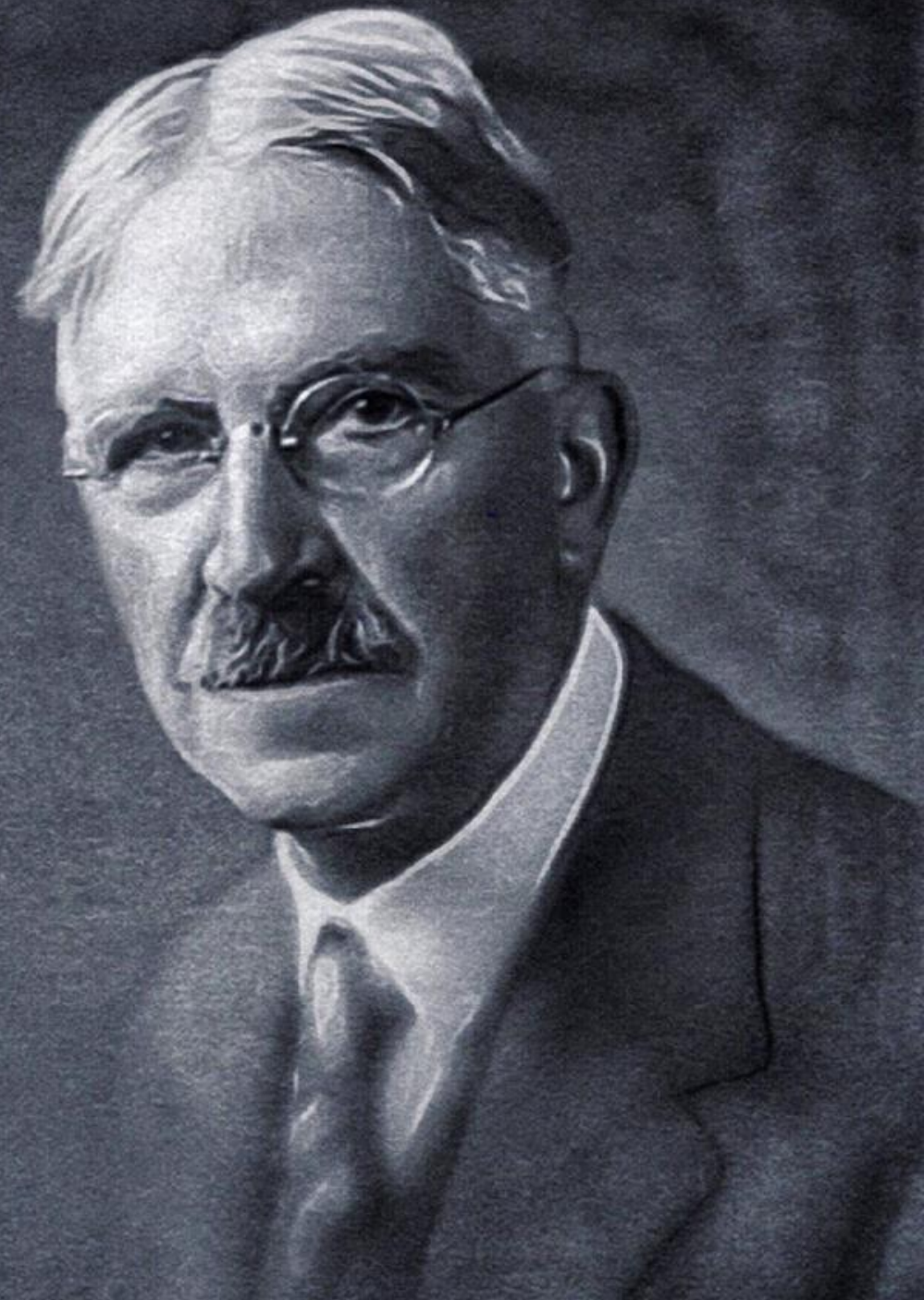


EDUCATION

is not preparation for life;

education is life itself.

John Dewey



言語教育の目的

- 機能的 目的
- 教育的目的



言語教育の機能的目的

文法・語彙などの
知識を与え、現実
社会で言語を使え
るようにする



言語教育の教育的目的

広い視野を身につけたり、
異文化を持った人たちとう
まく付き合い、一緒に世界
の問題を解決し、よい社会
を作っていくための人間力、
社会力を発展させる



言語教育の目的の変化

ツールとしての言語の教育



言語を通しての人間教育

教育の理念

スキル重視・
スキル偏重

VS

人間形成



地球市民育成の言語教育

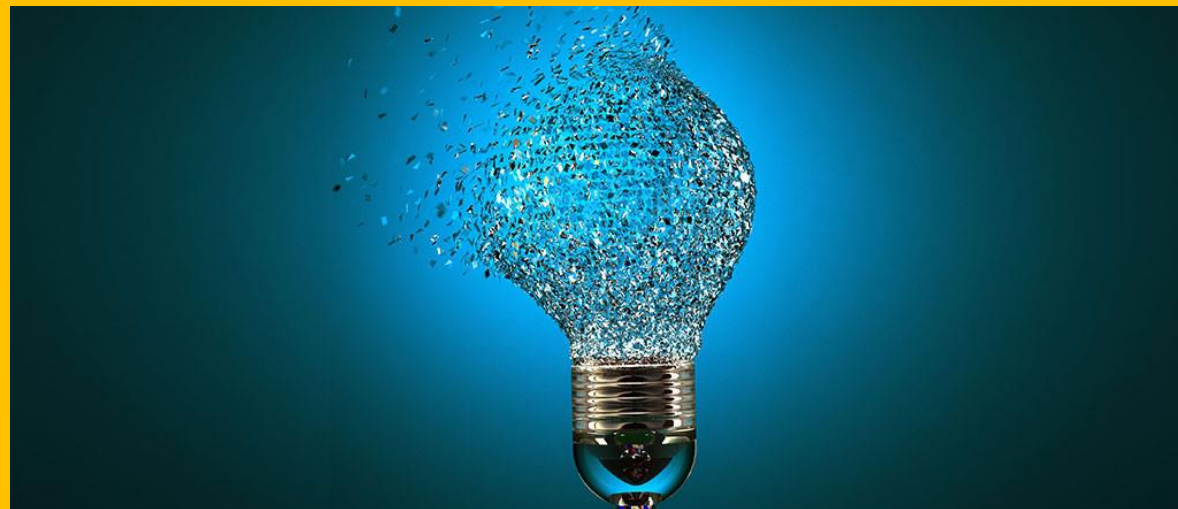


21世紀の世界

テクノロジー主導の激動の世界

破壊的創造

デジタル変革



第4次産業革命

第1次 産業革命

18～19世紀初頭
蒸気機関、
紡績機など
軽工業の機械化

第2次 産業革命

19世紀後半
石油、電力、
重化学工業

第3次 産業革命

20世紀後半
インターネットの出現、
ICTの急速な普及

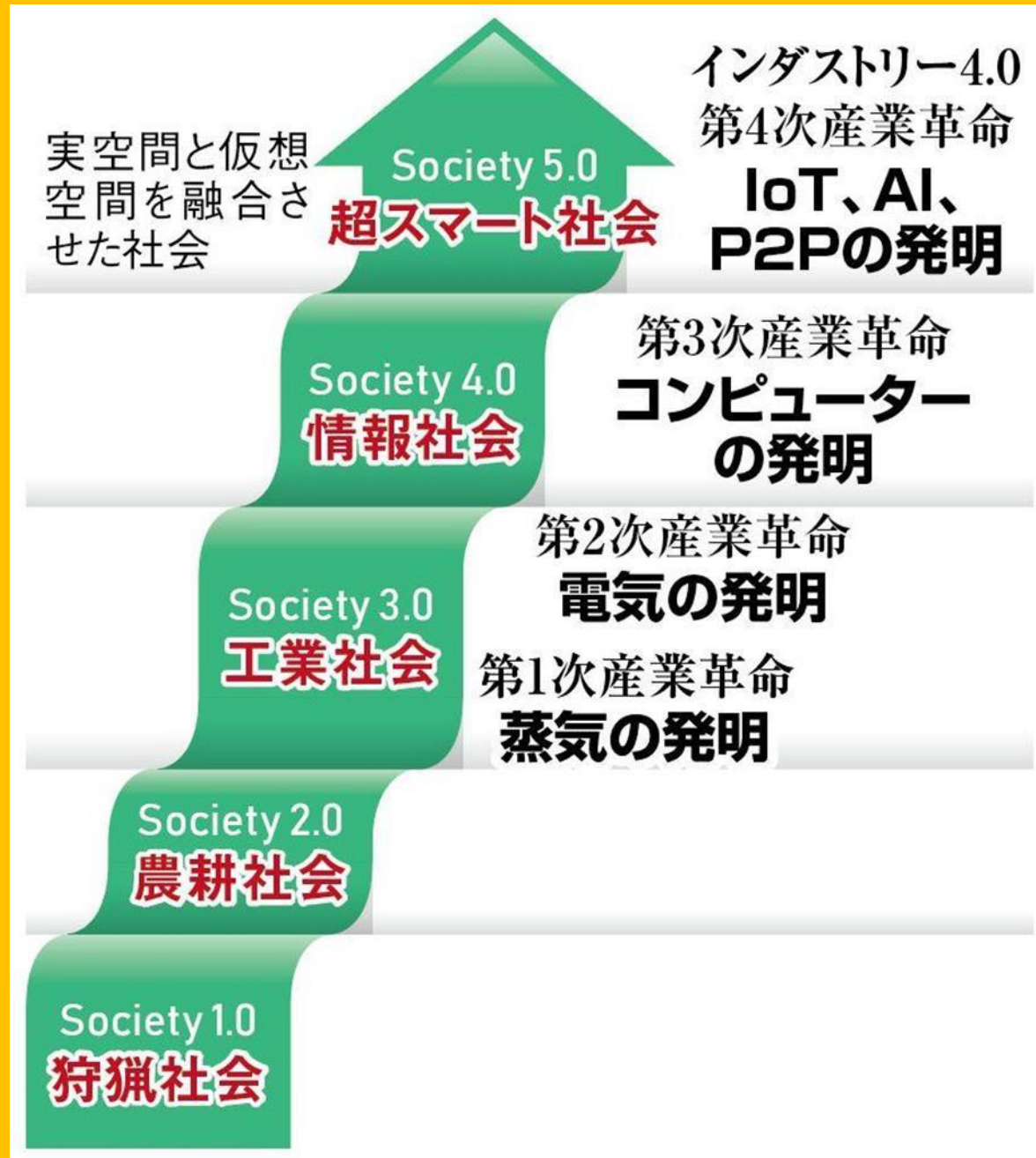
第4次 産業革命

21世紀
極端な自動化、
コネクティビティによる
産業革新

※ダボス会議UBS白書（2016年1月）

"Extreme automation and connectivity: The global, regional, and investment implications of the Fourth Industrial Revolution"

Society 5.0





Science Fiction

=

Science Fact



オートメーション

モーバライゼーション

ディジタリゼーション

ディスプレイインターメディエーション

オーグメンテーション・バーチャアリゼーション



なくなる人間の仕事



顧客サー
ビス



銀行業務



飲食サー
ビス



旅行・ホ
スピタリ
ティー



販売業務

労働の将来

- 2030年までに現在ある仕事の40%は不要となる
- 2030年までに現在18歳から34歳の人たちがしている仕事1500万は自動化される
- 2025年までに人間対（AIに裏付けられた）機械の仕事の割合は48対52になる（マッキンゼー）



労働の将来

- 2030年までに自動化により全世界の仕事の8億はなくなる（BBC）
- 2030年までにアメリカの7500万から3億7千5百万人がキャリアを変え、新しいスキルを身に付ける必要がある（マツキンゼー）



専門知識・スキルの価値

価値が半減するのに

20世紀 = 20年

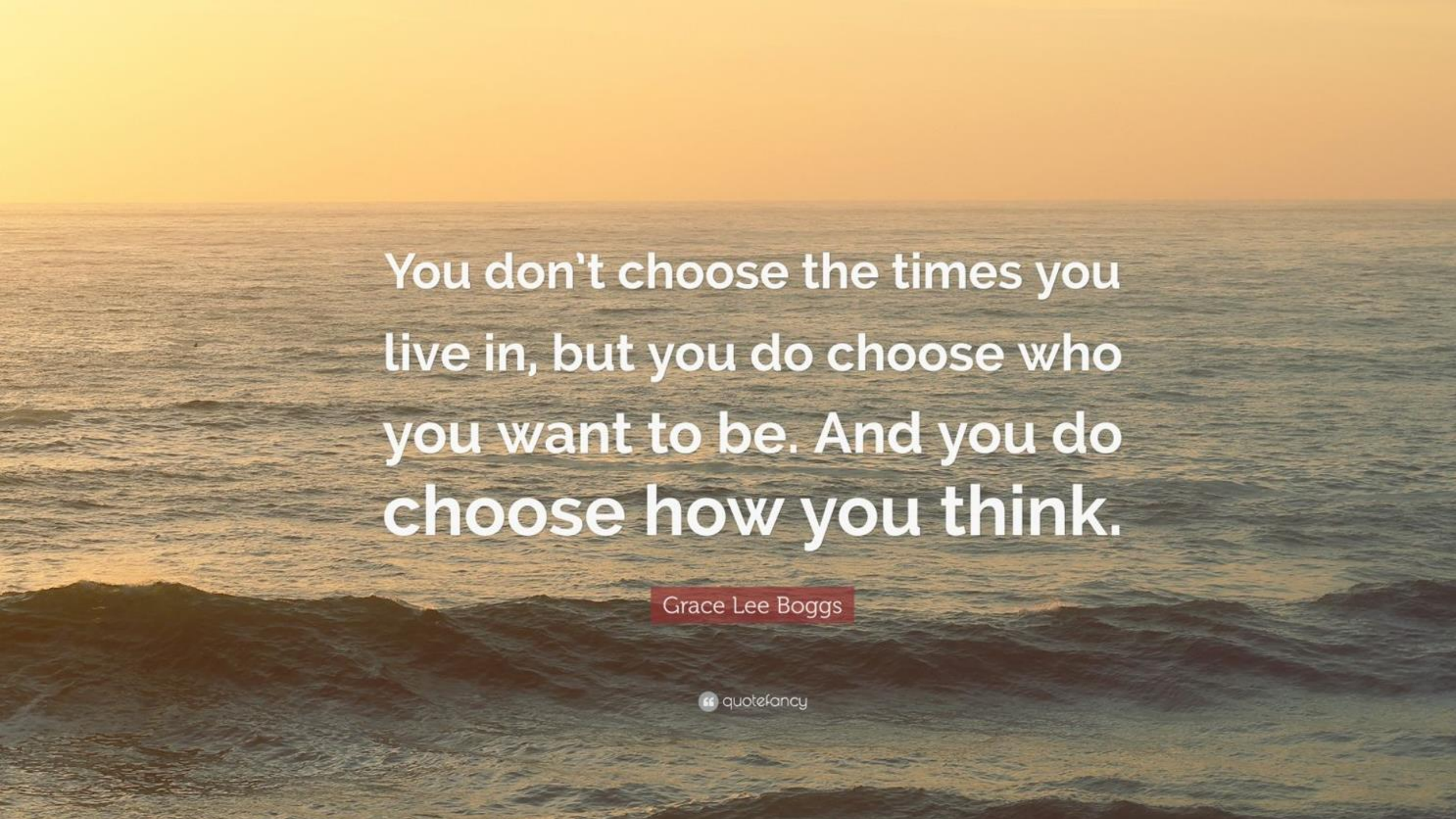
21世紀 = 3年から4年

退行化、陳腐化、老朽化

- ・環境の変化により
 - ・専門知識・スキルが陳腐化
 - ・専門知識・スキルが生む経済効果・生産性が退化

Gen Z (1997-2015生まれ)

- 一生で平均 17 の違う仕事に就く
- 一生で 5 つのキャリアを経験
- 一生で 15 回引っ越す

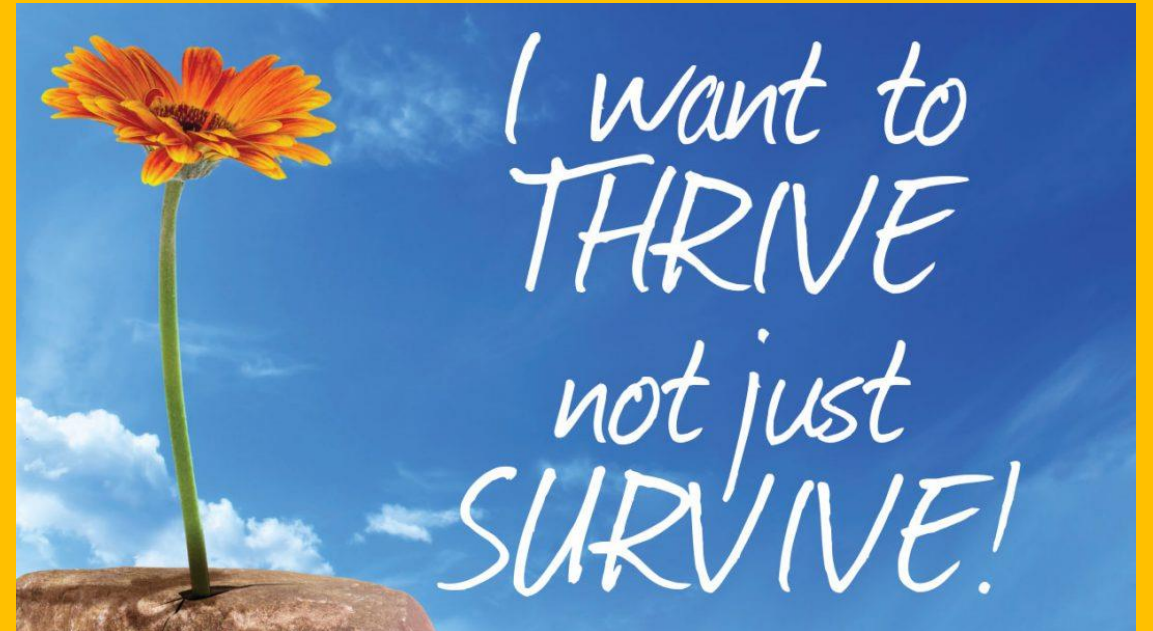
A serene sunset scene over a vast ocean. The sky is a warm, golden-orange color, transitioning into a darker blue at the horizon. The ocean surface is textured with gentle waves, and the foreground shows more pronounced, darker waves. The overall mood is peaceful and contemplative.

You don't choose the times you
live in, but you do choose who
you want to be. And you do
choose how you think.

Grace Lee Boggs

SurvivalからThriveへ

人間力・社会力を発展させる

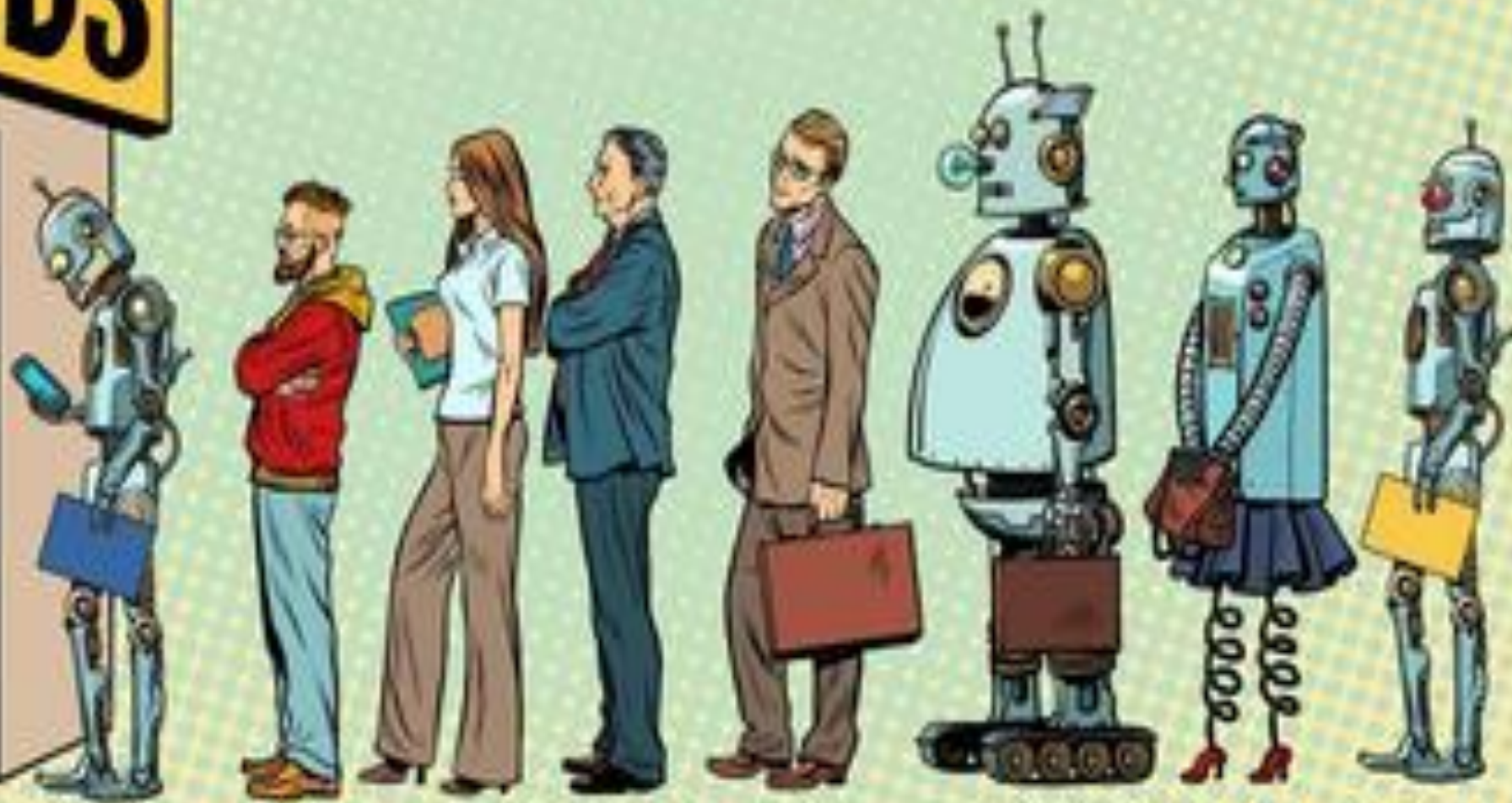


7 5 %

Us vs. Them

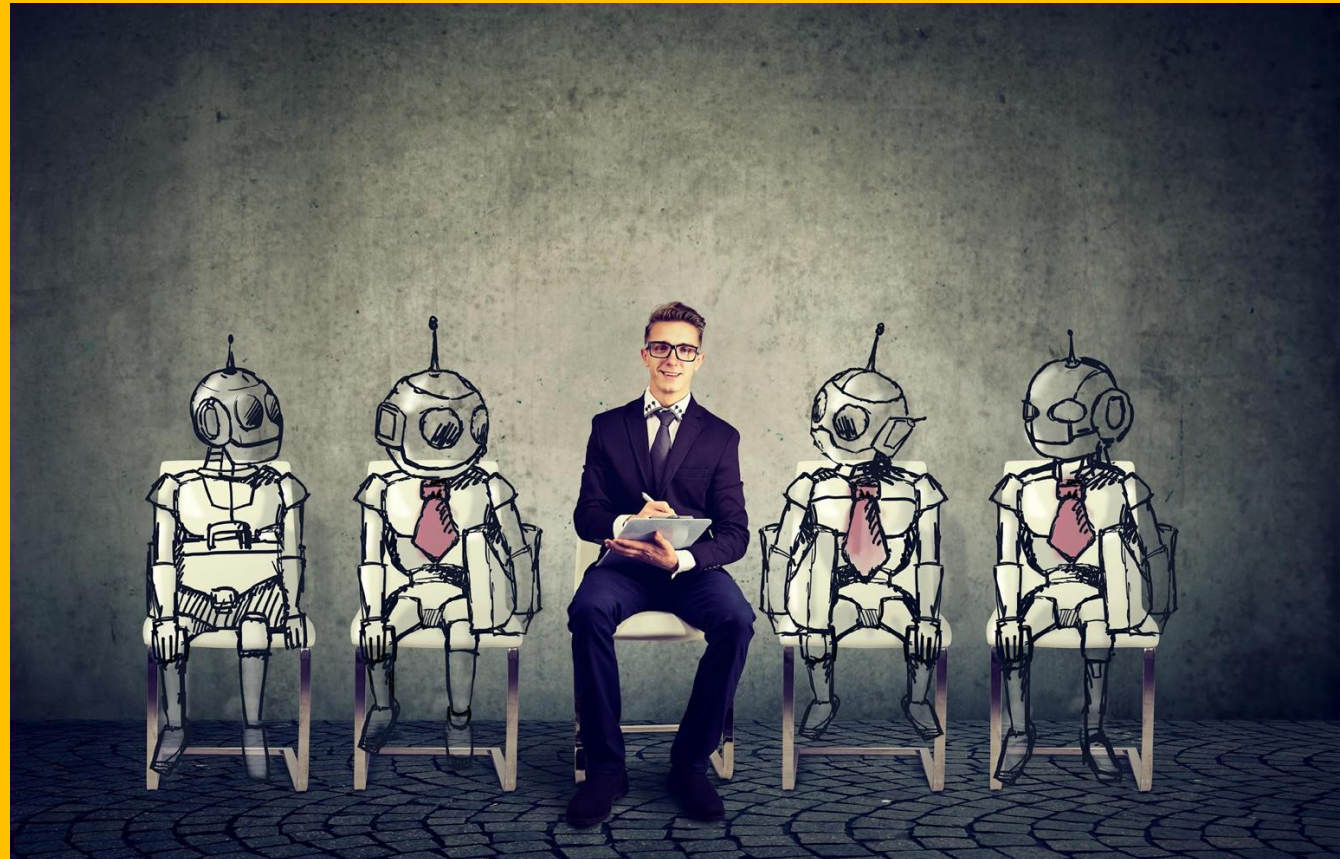


JOBS



機械と人間の違い

- **Simulating**
- **Being**

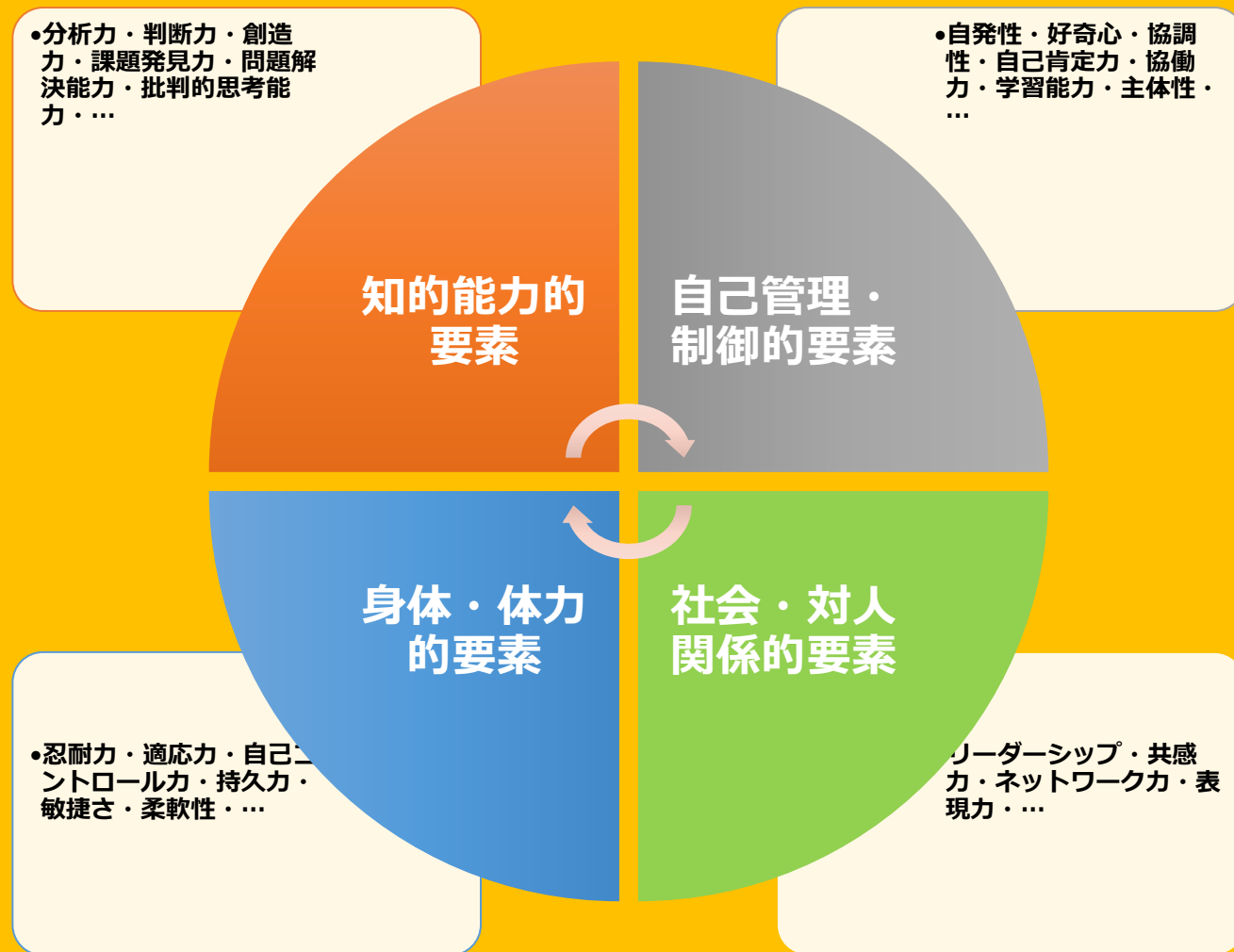


オートメーション、デイジ
タイゼーションできないこ
とに価値

人間力

先見性、情熱、洞察力、思考力、360度思考、共感力、信念、夢を見る、直観、倫理性、良心、信頼性、誠実さ、実直さ、知識統合力、説得力、共感力、同情心、柔軟性、自意識、ユーモア、知的好奇心、情感、親切心、感情、ひらめき、思い付き、セレンディピティー、友情、恋心、愛情、思いやり、おもてなし、内省力、美意識、美的感覚、...

人間力



どんな外国語教育？

オンライン修学旅行を作る



オンライン修学旅行を作る

- ・パンデミックで修学旅行に行けない日本人生徒のためにオンラインの体験ツアーを計画、公開する
- ・日本の高校教師と高校生にオンラインでインタビュー。高校生にGoogle Formsを使ってアンケート調査
- ・グループで日本人生徒が行きたい場所を選ぶ
- ・その場所について調べ、情報を集める
- ・その場所の体験ツアーを計画する
- ・Google Tour Creator, Google Poly/Tour, Google Art and Culture, Google Earthを使い、体験ツアーのサイトを作る
- ・作ったサイトで日本人生徒にツアーを体験してもらう
- ・どの体験ツアーが一番よかったか投票してもらう

外国語を教えない外国語教育

- 外国語を教えることが第一義的目的ではない外国語教育
- 外国語学習を通して人間として成長することが目標
- ツールとしての外国語教育から人間形成の外国語教育へ

ソーシャルネットワーキングアプローチ

つながる
言語教育

問題解決の
言語教育

社会貢献の
言語教育

人間形成の
言語教育

ポッドキャストを作る



ポッドキャスト

- 情報、エンターテインメントのメディアとして広く使われている
- 興味を同じくする人たちのコミュニティができている
- ポッドキャストを制作、編集し、出版するのは比較的やさしい
- 無料のテクノロジーを使うことができる
- いいポッドキャストを作るのには周到の準備、計画が必要

Soundtrap



ポッドキャスト制作

- ・ 様々なポッドキャストを聞いて、分析する
- ・ 自分の好きなポッドキャストの特徴は？よいポッドキャストとはどのようなものか？を考える
- ・ ポッドキャストのトピックを決める（社会貢献できる内容）。情報を集める。構成を決める。インタビューを入れるかどうかなどを決める
- ・ ポッドキャストのスク립トを書く
- ・ ポッドキャストを作る。録音する。イントロの音楽などを加える。インタビューする
- ・ ポッドキャストをパブリッシュする。広報する
- ・ フィードバックに答える
- ・ 制作のプロセスを内省する

どのように人間力・社会力を伸ばすか

人間力・社会力の応用

- ・自分の得意分野を知る
- ・オーディエンスを想定する
- ・制作を計画し、時間通りに作業する
- ・つながりを作る、共感を持つ、共感を得る
- ・お互いにフィードバックする
- ・お互いに助け合う・他人に助けってもらう
- ・他人の考えを尊重する
- ・失敗をおそれない

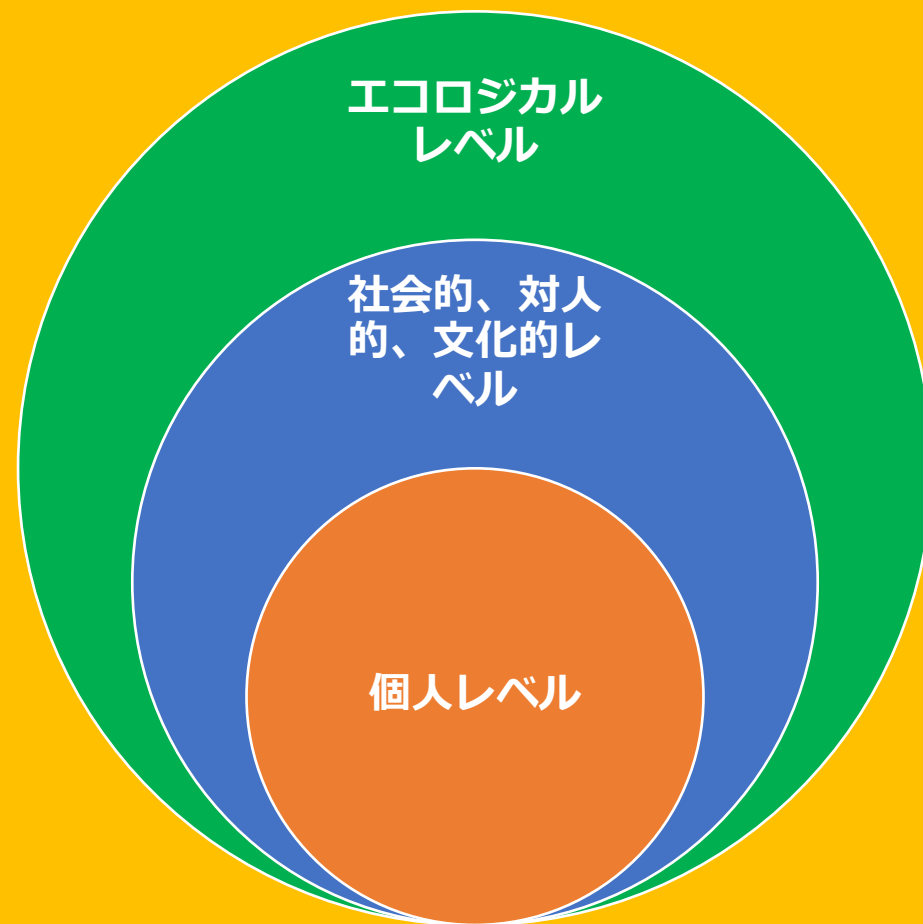
予想していなかった効果

- **日本語の学習の時間が大幅に拡大**
 - 様々なポッドキャストを聞く、様々な日本語を聞く
 - スクリプトを書く
 - インタビューする
 - 録音の前に、何度も練習する
- **日本語の能力が向上した**
 - 特に書く能力：自己発信力が伸びた
 - 発音が格段によくなった
- **テクノロジー使用に自信を持った**

外国語のクラスの特徴ーコンフリクト

- ・自分の価値観と異なる価値観を持った人間との接触
- ・自分の文化とは異なる文化との接触
- ・自分と他人の同一性、差異を比較できる

様々なレベルのコンフリクト



コンフリクト・レゾリューション

ストラテジー

- 強制(win-lose)
- 受容
- 妥協
- 回避
- 協調(win-win)

ステップ

- 感情のコントロールする
- コミュニケーション（伝える一聴く）する
- 問題解決法を考える
- 公平さを追求する
- 解決のための行動を起こす

どのようにコンフリクトを解消するか

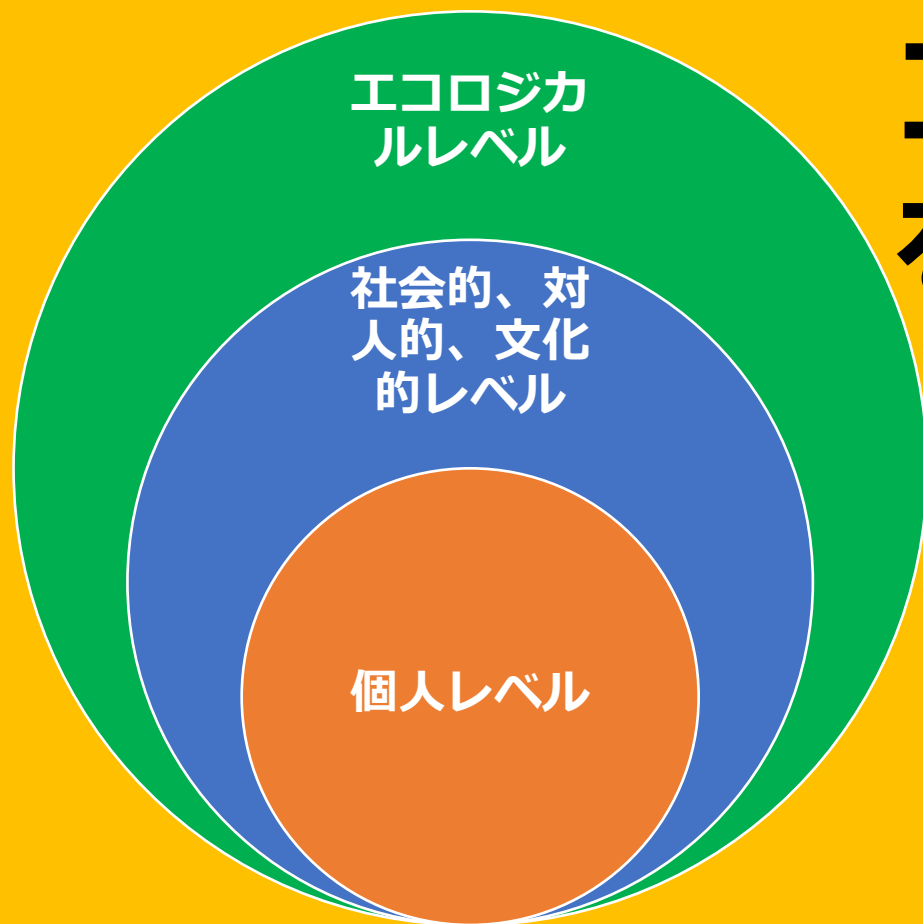
- ・ 人間力・社会力を使う

- ・ 自己認識：目標を立てる、自分の長所・短所を知る。長所をさらに伸ばす。短所を直す。自分の成長を信じる。自信を持つ。
- ・ 自己管理：感情・ストレスをコントロールする。落ち着く。我慢強くなる。マインドフルネス。
- ・ 社会的認識：他人に共感する。多様性を尊重する。
- ・ 人間関係スキル：協働作業する。交渉する。コミュニケーション。コンフリクト・レゾリューション。
- ・ 責任ある意思決定：問題点を探す。状況を把握し、判断する。問題解決のためによりよい決定を下す。倫理的に行動する。内省する。
- ・ WTC (Willingness to Communicate)-相手と話す意志

背景にある教育アプローチ

- **Social Emotional Learning**(Collaborative for Academic, Social, and Emotional Learning (CASEL))
- **Critical Pedagogy**(P. Freire(1998))
- **Transformative Learning Theory**
(J. Mezirow (1991, 1995))

様々なレベルの平和の達成



コミュニケーション
を通して

R. Oxford et al. (2020)

国際平和を達成する外国語教育



平和とは？

平和とはコンフリクトがないことではない。
平和とはコンフリクトを平和な方法で扱う能力である。

ロナルド・レーガン



平和とは？

黙っていることが
常に平和であるとは
限らない。

アマンダ・ゴーマン
("The Hill We Climb")



平和とは

平和とは日々の問題であり、
無数の出来事と判断の結果で
ある。平和とは「固定したも
の」ではなく、「そうなって
いくもの」である。

ハイレ・セラシエ 1 世



平和の始まり

他人の靴をはいて立つこと、他人の目を通してものを見ることを学ぶことが平和の始まりである。そして、それが起こるかどうかはあなた次第である。

バラック・オバマ



人間形成の言語教育

- 学習者のアイデンティティーを確立し、人間としての成長を促し、人間としてエンパワーする
- 地球市民として自らの権利を行使し、人間社会の発展に貢献する責任を果たす
- 平和を愛し、平和な世界を作れる人間を作る



John Dewey



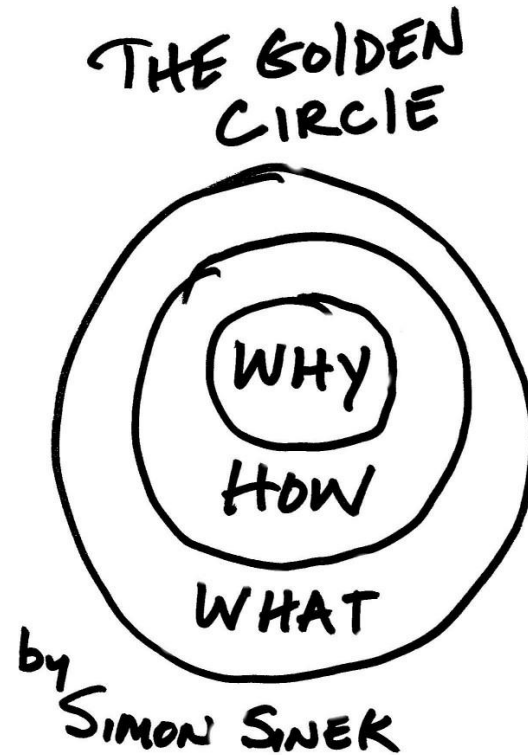
**「今日の学習者を昨日
の学習者に教えるよう
に教えていては、学習
者から未来を奪ってし
まう」**

新しい外国語教育の創出

新しい外国語教育の創出はその基盤となる外国語教育の新しいビジョンの創出に始まる

(De Lano, Riley, and Crookes (1994))

The Power of WHY?



教育の組織的枠組み

ポリシー、構造、
統治、教材

教師

教授プログラム、授業

カリキュラム・評価システム

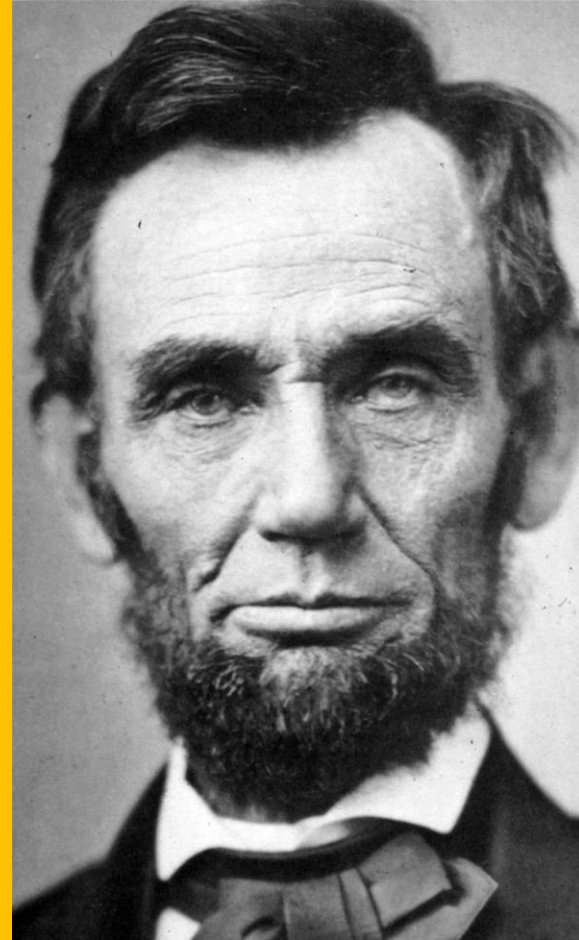
ビジョン・ミッション

学習理論・学習原則

日本における外国語教育の未来

今日の学校教育の哲学は次の時代の政治の哲学である

エイブラハム・リンカーン



Teach like the future depends on it.

未来があなたの教育にか
かっているように
教えなさい

-Big Questions Institute







おわり

質疑応答



ありがとうございました

ご質問、コメントは
ytohsaku@ucsd.edu
までどうぞ

